

熊本市立中学校における新しい学校部活動の在り方（概要版）

① 学校部活動の意義等について

学校部活動の意義

- 仲間づくりや人間関係
- 放課後の居場所づくり
- 自主的で多様な学びの場
- 生涯にわたる活動の基盤 等

現行の学校部活動の課題

- 少子化で部員数が減少し、学校単位で多様な部活動の提供が難しくなっている
- 教職員は勤務時間外の指導や専門外の指導で負担が大きく、平日は無償、休日は少額の手当で従事している

本市が目指す新しい学校部活動（令和9年度～）

- 地域と連携して学校部活動を継続し、拠点校部活動等を推進することで、こどもたちの活動機会の確保・拡充を目指します
- 指導者に報酬を支払うとともに、教職員については、指導を希望する者が兼職兼業の許可を得て指導を行うことで、負担を軽減します
- 地域や企業と積極的に連携し、地域に支えられた活動を展開します

② 指導者について

- 指導者は常時2人配置（顧問、副顧問）
- 人材バンクの設置
指導者の想定：希望する教職員、退職教員、大学生
民間企業従事者、公務員、団体職員 等
顧問：1,600円/h 副顧問：1,000円/h

【参考】指導者の報酬月額（試算）

（週5日（月20日）活動を行った場合）

顧問：1,600円×44時間※=70,400円

副顧問：1,000円×44時間※=44,000円

※週5日活動（平日4日×2h + 休日1日×3h）×4週=44時間

③ 新しい学校部活動に要する費用（試算）について

〈試算条件〉・指導者 1,600人（顧問800人、副顧問800人）
・部員総数 12,413人（R6時点）

指導費等	人材バンク運営に係る費用	総額
約6.0億円	約0.5億円	約6.5億円

○費用の負担について（試算）

項目	金額
受益者負担※1	約3.2億円
公費負担	約1.5億円
企業等の協賛	約1.8億円
総額	約6.5億円

※1：経済的に支援が必要な世帯への補助については公費から支出

受益者負担の月額（試算）	3,000円程度※2
--------------	------------

※2：1週間当たりの活動回数によって金額は変動